

糖尿病オンデマンドセミナー

ご自宅、病院、診療所などから、インターネットを通じてご視聴いただけます。

2型糖尿病治療では、病態や併存疾患、年齢を考慮した治療薬や血糖測定デバイスの選択が必要です。加えて、個人のライフスタイルや医療費負担を尊重した患者中心のアプローチも重要とされています。本セミナーでは、「患者中心の糖尿病診療を考える」をテーマに、患者さんに最適な薬剤選択の考え方や血糖測定デバイスの選択について2人の先生からご講演いただきます。

[配信期間] オンデマンド配信

2023年11月27日(月)12:00～12月17日(日)23:59

患者中心の糖尿病診療を考える

講演1
[20分]

SMBGは何故なくならないのか？ ～CGMとの使い分けについて～

順天堂大学大学院医学研究科
代謝内分泌内科学 准教授

佐藤 淳子 先生



| 略歴 |
シカゴ大学大学院社会科学修士課程修了(1996年6月社会科学修士号取得)
出版社勤務を経て
2000年 東海大学医学部医学科入学(2004年3月卒業)
2004年 東海大学医学部付属病院において臨床研修
2007年 順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学専攻生
2008年 順天堂大学医学部附属浦安病院糖尿病・内分泌内科 助教
2015年 順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌学専攻課程修了
2015年 順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学 助教
2016年 順天堂大学医学部附属静岡病院糖尿病・内分泌内科 准教授
2018年 順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学 准教授

現在に至る

講演2
[20分]

日本人2型糖尿病患者には、なぜメトホルミンと DPP-4阻害薬が必要なのか？

順天堂大学大学院医学研究科
代謝内分泌内科学 准教授(外来医長)

三田 智也 先生



| 略歴 |
1999年 順天堂大学医学部 卒業
1999年 順天堂大学付属病院において臨床研修
2002年 順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学専攻生
2008年 順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学専攻課程修了
2008年 順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学 非常勤助教
2009年 順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学 助教
2014年 順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学 准教授

現在に至る